

デジタルトピック (Vol.7)

このコーナーでは、地域のデジタルに関する取り組みを紹介します。

地域デジタルクラブに関心のある方は、ぜひお気軽にご相談ください。 ■問/デジタル推進課 ☎572-3943

クラブ概要

設立/令和6年3月
会員数/9人(60代~70代)
【男性4人 女性5人】
※うち2人は市のシニアICTサポーターとして活躍中。
活動日/毎月第2火曜日
活動場所/渡利学習センター



▲ 設立に向けた打ち合せの様子

柳生会長に聞きました！

自分自身シニアICTサポーターとして活動しているものの、まだまだデジタルに精通しているとは言えません。ただ、分からないことに対する探求心や好奇心は人一倍あります。クラブの皆さんと楽しくスマホの勉強をしていながら、このクラブの活動が少しでも地域の高齢者へのサポートにつながればいいなと思います。



▲ クラブ設立に携わった中心メンバー

渡利地区に、市内で4つ目となるデジタルクラブ「スマホカフェ・わたり」が誕生し、5月から活動をスタートします。

クラブ設立に携わったシニアICTサポーターの柳生さんは、活動の参考とするため、他地区のクラブ活動を見学。その上で、自分たちの活動は、各自が持ち寄った悩み事からテーマを決めて、みんなで勉強するスタイルとしました。講座形式にしなかったのは、自分たちで調べることで知識がより身に付くと考えたからです。

クラブ名に「カフェ」を入れたのは、柔らかい印象で気軽に集う雰囲気を出すため。もちろん「カフェ」として開催するので、お茶やコーヒーを飲み、ワイワイがやがやと楽しみながらスマホ活用の学びの場にするのが目的です。

渡利地区に新たな地域デジタルクラブが誕生！ スマホカフェ・わたり

We Love♥
ふくしま!

第69回
「2024年問題を乗り越えよう」



いま話題の2024年問題。働き方改革関連法により、建設業や自動車運送業、医師などへの時間外労働の上限規制が本年4月から導入され、人手不足が深刻化し、経済活動や暮らしに広範な影響が及ぶことが懸念されています。

建設業では工事の遅れなどが、自動車運送業では輸送能力が低下して物流が鈍化し、配送が遅延することも考えられます。公共交通ではバスの減便や休廃止、タクシーの待ち時間の増加などが考えられ、両業種とも中小企業の倒産増加が危惧されています。

医師に関しては、救急医療など医療提供体制への影響が懸念されます。本市では休日当番を担う小児科が減少し、一部をオンライン診療に切り替えたほか、この7月からは県外から小児科医を確保して、体制強化する夜間休日急病センターで第2・第4日曜の医療を担うなど、すでに働き方改革の影響が出ています。

その対策として、デジタルの活用、賃上げなどの処遇改善をはじめ、スケジュールの見直し、他の会社や職種との連携など、さまざまな対策が進められています。

しかし、業界の努力だけでは克服は困難で、私たち利用する側の協力が不可欠です。

例えば、宅配便は、再配達率が11.1%に上ります。9回に1回は無駄足を運ばせているのです。確実に荷物を受け取る時間・場所を指定する、宅配ボックスを設置するだけでも大きな負担軽減になります。

公共交通では、マイカーの利用を控えて、できるだけ公共交通を利用することが一番の支援。一方、救急医療については、普段から家庭で見守る力を養い、軽い症状なら夜間休日の受診は控え、電話相談、平日受診で対応するなどの適正受診が望まれます。

便利であることは大変ありがたいことですが、相手側に犠牲を強いていては、持続的な利便性は望めず、かえって大きく後退してしまいます。働き方改革により充実した人生を送ることは、すべての働く人に必要です。それを共有し、協力し合って2024年問題を乗り切りたいものです。

福島市長 木幡 浩

お詫びと訂正

市政だより令和6年4月号 P5「FUKUSHIMAものづくり企業ファイル(No.22)」の記事中、表記に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。 誤：荒川さくらづみ酒造り協議会 正：荒川桜づみ酒造り協議会 誤：3年前 正：5年前